

## 上山小学校マニフェスト(中期学校運営計画)

**計画期間** 平成18年12月1日～平成23年3月31日

**学校教育目標**  
ここで学び　ここに遊ぶ　ここがふるさと　上山の子

### 学校経営方針

学習指導における「わかる楽しさ」「できた喜び」を味わわせるため、より一層の授業改善へ取り組みます。家庭・地域と、更に連携を強める中、学校に集う、子どもたち、保護者、教職員等関係者にとっての「ふるさと意識」の醸成に努め、「母校上山」の意識と誇りをもつ学校づくりを進めます。

### 指導の重点

- ・基礎基本の確実な定着を図り、各教科領域の学習活動の充実に努めます。
- ・中山中学校区(小学校三校、中学校一校)及び近隣幼稚園等との教育活動面における積極的交流を図り、子どもの豊かな人間性を養います。
- ・地域の中で育てられ、発展していく学校づくりの一層の促進を図ります。

### 改善の視点

### 取組目標

1 児童が学習内容を確実に身につけることができるよう、教科等の指導を充実し、児童の学力向上を図る必要があります。	・少人数学習指導の充実を図り、特に、教科学習による理解度の差異が大きくなる2、3年生算数科学習において、積極的に導入し、指導体制の工夫を図り、学力評定によるB基準を全員の子どもたちが達成できるよう努めます。
2 子どもたちの交流範囲を拡げる方法として異学年との教育活動交流を活発化させることで、学校集団としての一体感や情意面からの協力信頼関係の構築を図り、仲間意識を育てる必要があります。	平成18年度より全学年縦割り活動グループを編成し、このグループを基本として、様々な教育活動を活発に展開します。 ・宿泊体験学習や校外学習、運動会や交歓給食等学校行事の場面を活用して、異学年交流を進めます。
3 子どもの安全を脅かす事件が後を絶ちません。安全・安心な学校づくりを進めると共に、安全教育の充実を図る必要があります。	平成18年度 文部科学省より「地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業」の委嘱を受け、防犯教育を主眼とした授業研究会で子どもたちの自己防衛能力の向上を図り、地域自治会やPTA会員からのボランティアで組織したスクールガード隊を編成し、通学路の安全の確保に努めます。 ・平成19年度以降は、スクールガードを発展充実させ、学援隊として安全対策のみに限らず、教育活動全般の中に組み入れ、活発に活動を行って参ります。
4 地域との連携を充実させることで、教育活動の質を高め、幅を拡げ、学校教育活動の良き理解者を増やし、円滑で魅力溢れる教育活動の充実に努める必要があります。	平成18年度 創立30周年記念事業に関わって、地域に伝わる伝統芸能(上山太鼓、緑区音頭)を紹介し、教育活動場面に積極的に取り入れ、円滑な地域連携を図って参ります。 ・平成19年度以降は、学校全体の取り組み及び各学年単位で、地域との触れ合い行事を創設し、充実発展させて参ります。

人材育成の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内授業研究会及び校内研修会(重点研究会及び休業期間中教職員研修)をさらに活性化し、教育委員会主催教職員研修と効果的に連携させつつ、今日的教育課題解決のための共通理解を積極的に図ります。</li> <li>・初任者研修及び二年次、三年次研修の校外研修と校内研修を組み合わせ、授業研究会を中心として若手育成研修の充実を図ります。</li> <li>・三年次以上の教職経験者には、校務分掌において、キャップを務めさせ、組織リーダーとしての意識改革を促します。</li> <li>・校長、副校長が先頭に立って、経験豊かな教職員の意識改革及び指導技術面におけるリーダーシップを大いに発揮させ、校内組織の活性化につなげます。</li> </ul>
平成19年度の重点取組項目	<p>創立30周年イヤーの前年度の成果をさらに発展させ、地域人材の活用及び積極的な学校からの発信を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月26日～11月2日の「学校開く週間」に緑区福祉保健センターとの共催事業「喫煙防止教室」やPTAとの共催事業としての「体ほぐし体操」の実施等を設定します。</li> </ul>
これまでの取組結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上の観点に立っての少人数学習指導の充実では、低学年サポートやTA制度の効果的な活用により、学級担任との連携もよく、着実に成果が上がってきている。</li> <li>・地域連携の充実では、前年度の活動にも増して、学校防犯及び交通安全体制の強化としての「スクールガード隊」(地域及びPTAによるボランティア活動)が円滑に活動を開始し、教職員及び児童も地域行事にとても積極的に参加している。 (一例として、10/14開催の地域フェスティバルには1・2年児童参加、11/3中山まつりには、3～6年参加と全学年児童が今年度より関わられるようになった)</li> <li>・中山中学校区四校連携事業は、さらに密度を高め、今年度、横浜版学習指導要領モデル地域として「小中一環教育の在り方」を追求し、本校重点研究(国語科)に中山中学校国語科教諭を共同研究者に加えての授業研究会開催等活発な活動を展開している。</li> </ul>
教育懇話会の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・四季の森公園での農作業体験学習等、更なる充実とより密接な地域連携により、子どもたちの生き生きした活動を地域として支えていきたい。</li> <li>・「中山まつり」等地域行事への児童の積極的参加を、地域活性化の観点からも引き続きお願いしたい。</li> <li>・地域連携により「郷土史」をとりいれた学習を6年生だけでなく、各学年に応じて取り入れていただきたい。</li> </ul>

1 この計画は、横浜市教育委員会の定める「学校版マニフェスト(中期学校運営計画)」として策定したものです。 2 は重点項目